

平成 29 年度宅地建物取引士資格試験のための統計数値情報

宅地建物取引士資格試験（宅建試験）は、最新の統計数値から統計問題が出題されます。
平成 29 年度の宅建試験で出題の可能性のある統計数値情報をお知らせします。なお、宅建全国 Web 模擬試験では最新の統計問題も出題していますので必ず受験するようにしてください。

統計数値のうち、過去に出題数が多いのは、①地価公示の概要、②前年の建築着工統計（新設住宅着工戸数）です。なお、建築着工統計には「年（1月～12月）」の数値と「年度（4月～翌年3月）」の数値がありますが、出題頻度が高いのは「年」の数値です。

①平成 29 年地価公示結果の概要（平成 29 年 3 月公表）

平成 28 年 1 月以降の 1 年の地価について

- ◆全国平均では、全用途平均は、2 年連続上昇。用途別では、住宅地が 9 年ぶりに下落を脱して横ばいに転じた。商業地は 2 年連続上昇。
- ◆三大都市圏をみると、住宅地はほぼ前年並みの小幅な上昇。商業地は総じて上昇基調を強める。
- ◆地方圏をみると、地方四市では住宅地・商業地とも三大都市圏を上回る上昇。その他の地域では下落幅が縮小。

< 圏域別・用途別対前年変動率 >

		平成 28 年地価公示	平成 29 年地価公示
住宅地	全国平均	△0.2%	増減なし
	三大都市圏平均	0.5%	0.5%
	地方圏平均	△0.7%	△0.4%
商業地	全国平均	0.9%	1.4%
	三大都市圏平均	2.9%	3.3%
	地方圏平均	△0.5%	△0.1%

※「△」は下落を意味します。

②平成 28 年 1 年間（年）の新設住宅着工戸数（平成 29 年 1 月公表）

平成 28 年の新設住宅着工は、持家、貸家及び分譲住宅が増加したため、全体で増加となった。

- ・平成 28 年 1 年間の新設住宅着工戸数 : 967,237 戸
前年比 6.4%増、2 年連続の増加。
- ・平成 28 年 1 年間の新設住宅着工床面積 : 78,178 千㎡
前年比 4.2%増、3 年ぶりの増加。
- ・平成 28 年 1 年間の新設住宅着工戸数の利用関係別戸数

項目	戸数	前年比（増減）
持家	292,287 戸	3.1%増（3 年ぶりの増加）
貸家	418,543 戸	10.5%増（5 年連続の増加）
分譲住宅	250,532 戸	3.9%増（2 年連続の増加）
分譲住宅 （マンション）	114,570 戸	0.9%減（昨年の増加から再びの減少）
分譲住宅 （一戸建住宅）	133,739 戸	8.2%増（3 年ぶりの増加）

- ・平成 28 年 1 年間の新設住宅着工戸数の建築工法別戸数

項目	戸数	前年比（増減）
プレハブ	148,528 戸	3.5%増（2 年連続の増加）
ツーバイフォー	123,713 戸	7.9%増（2 年連続の増加）

③土地白書による平成 28 年の土地取引件数（平成 29 年 5 月公表）

- ・平成 28 年 1 年間の全国の土地取引件数 : 129 万件
前年比 0.3%増

④法人企業統計調査による平成 27 年度の不動産業の売上高および経常利益（平成 28 年 9 月公表）

- ・平成 27 年度の不動産業の売上高 : 39 兆 3,835 億円
前年比 6.5%増
- ・平成 27 年度の不動産業の経常利益 : 4 兆 3,014 億円
前年比 7.5%減

⑤国土交通白書による平成 27 年度の宅地建物取引業者数（平成 29 年 5 月公表）

- ・平成 27 年度末現在における宅地建物取引業者数 : 12 万 3,307 業者
前年比 0.6%増、2 年連続の増加